

## 令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立大森東小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・実際に動植物を間近で見る経験やじっくり観察する時間を確保した結果、高学年では生命・地球分野の学習における観察の技能や思考の力が伸びたものがある。

#### (2) 課題

- ・自然事象や実験への関心はあるものの、基本的な知識や理解に結び付いていない。
- ・理科で学習した用語や実験器具の名前、その使い方の理解につまずきが見られる。
- ・説明したり自分の考えを表現しようとしたりするという意欲に課題がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）△目標値を上回っているポイント▼目標値を下回っているポイント

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現▼ 主体的に学習に取り組む態度▼		
第5学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現△ 主体的に学習に取り組む態度▼	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現△ 主体的に学習に取り組む態度△	
第6学年	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現▼ 主体的に学習に取り組む態度▼	知識・技能 ▼ 思考・判断・表現△ 主体的に学習に取り組む態度▼	知識・技能 △思考・判断・表現△ 主体的に学習に取り組む態度 △ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に近かったり、上回ったりしているものもある。</li> <li>・鏡で反射した日光をまともに重ねるほど、まとの温度は高くなること、1つの輪のようになっている電気の通り道のことを「回路」とよぶこと、方位磁針の針の動き方から、磁石の極を確かめら</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に近かったり、上回ったりしているものもある。</li> <li>・日なたの地面の上がり方をもとに正午の日かげの地面の温度を推測する力、常備灯を工作するにあたって、絶縁体の部分に用いる素材として適切なものを判断し、その理由を説明する力が低く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に近かったり、上回ったりしているものもある。</li> <li>・問題を読み取る力や集中力に課題が多い。問題の意図自体が理解できず無回答が目立つ。特に、記述問題でその傾向が強く見られる。</li> </ul>

れること、理解が低くなっている。	なっている。	
------------------	--------	--

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>魚のたんじょうにおいて、メダカの雌雄の区別、たまごの変化の様子は理解している。</li> <li>電流のはたらき、天気の変化、けんび鏡の使い方などについて理解が不十分である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値に近かったり到達していたりするものもある。</li> <li>日常事象における条件に着目して、知識を関係付けながら問題を解決することに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値に近かったり、上回ったりしているものもある。</li> <li>説明したり自分の考えを表現しようとしたりする意欲に課題が見られる。</li> </ul>

3 授業改善のポイント（観点別）

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が用語や実験結果を補いながら、知識を一般化させて定着させるため、まとめの時間を十分に設けるようにする。</li> <li>他教科の学習でも、用語や語句に触れるよう教師が心がける。</li> <li>学習したことを、テスト前などにタブレットの学習問題や教科書の適用問題などを実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習の予想は個人→グループの順で話し合い、予想を基にした実験をし、予想と結果を比べながら進める。</li> <li>まとめの段階では、様々な日常現象を解決する活動に取り組み、知識の定着を図ると共に活用する力を身に付けさせる。</li> <li>ICTの学習教材や動画を活用して、実験の結果を発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験の目的を児童に問いかける等、何を解決するために活動しているのか、問題に立ち返らせて意図を確認する指導を繰り返す。</li> <li>考察等での記述の前には友達と考えを伝え合う時間を設け、自信をもたせる。また、記述が苦手な児童には、ポイントとなるキーワードを与えて、書きやすいよう支援する。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを、テスト前などにタブレットの学習問題や教科書の適用問題などを実施したりして、インプットした知識をアウトプットさせて理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学んだことのレポート作成等をし、理科的な事象を日常生活と結び付けていく。左記のように知識の定着を図り、それを使えるように自信をもた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことに自信がもてるように、反復して問題を解いたり、単元のまとめで学習したことを再確認したりしていく。</li> <li>まとめの文章を書くの</li> </ul>

<p>解を深めていく。</p>	<p>せていく。</p>	<p>が苦手な児童には、ポイントとなるキーワードを与えて、書きやすいよう支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ I C T の学習教材を活用したり、動画で確認したりして意欲的に取り組むことができるように支援する。</li></ul>
-----------------	--------------	--